

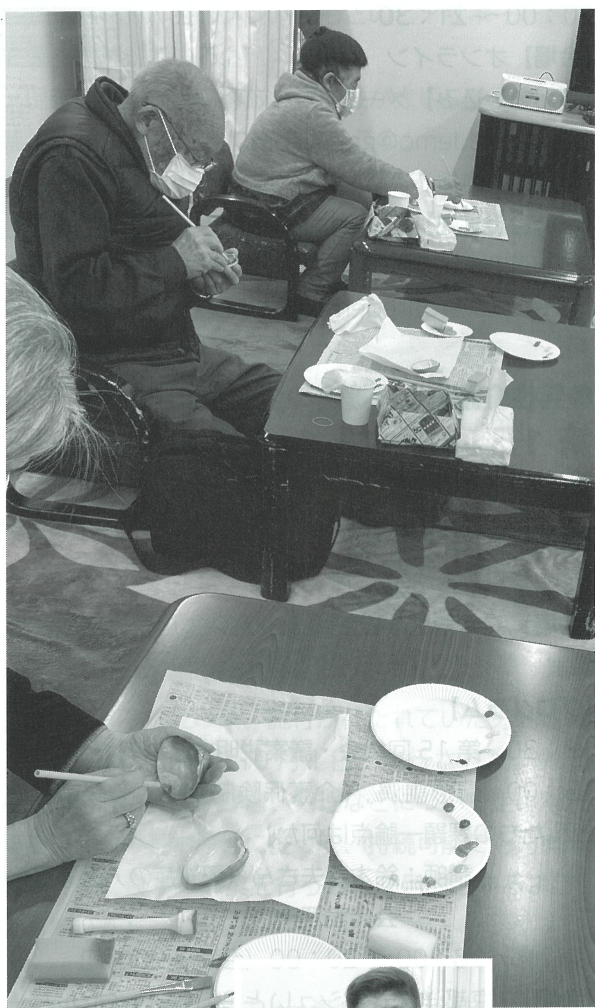
臨床美術の  
現場から

42

## 「大地の芸術祭」越後妻有で 臨床美術

株式会社クリーンセキュリティ介護福祉事業部  
十日町市委託事業認知症予防教室「さわやか」  
【新潟県十日町市】

2011年に臨床美術士の資格を取得し、地元の新潟県長岡市を中心に活動を始めて今年で11年目を迎えます。この11年の活動の中で中心的な存在が「アップル十日町」で開催されている十日町市委託事業認知症予防教室「さわやか」です。



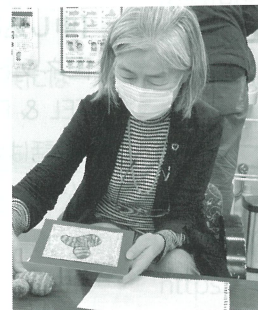
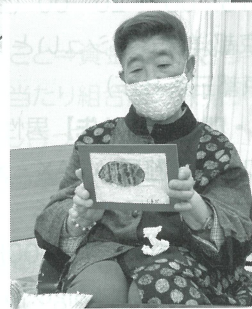
### ❖なぜ十日町市で臨床美術？

豪雪地帯にある新潟県十日町市及び旧津南町、松代町など6市町村「越後妻有地域」で農業を通して大地と関わってきた「里山」を中心に、アートによる地域づくりとして3年ごとに「大地の芸術祭」が開催されています。毎回、日本のみならず世界中からアーティストが訪れ、この地域の自然の中で制作した作品を展示し、その作品を鑑賞しに多くの方々を訪れます。そんな中、2012年、正式名称「第5回大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」「大地の芸術祭」に臨床美術プロジェクト「はつがの家-臨床美術ギャラリー」が公開されました。世界中からプロの作家たちが作品を展示する国際アートイベントに、全国の臨床美術教室などに参加して下さっている認知症の高齢者や子どもたちなど、一般の方々の多くの作品が展示されました。この年には芸術祭に全国及び海外からおよそ49万人の方が訪れ、展示された様々なアート作品を鑑賞して行きました。

臨床美術ギャラリーではワークショップを開催し、アート作品の制作体験をしていただく事で多くの方々に「臨床美術」を認知していただくきっかけとなりました。合わせて同開催期間中に十日町市と日本臨床美術協会主催の講演会や高齢者向けの臨床美術体験会が開催されたことをきっかけに、認知症予防教室に導入していただくことが決まりました。

### ❖参加する事の楽しみ

今年で10年を迎える認知症予防教室「さわやか」は、現在在籍4名で当時の参加者様は2名です。徒歩でもご家族



の送迎でも通って来てくださいます。株式会社クリーンセキュリティ介護福祉事業部が入る「アップル十日町」はデイサービスやサービス付き高齢者向け住宅が併設されていて、そこから2名の方が参加して下さっています。当時から参加して下さる方は毎回「思いがけない手法や材料でどんな作品が生まれるのか楽しみでワクワクする」と皆勤賞です。複合施設「アップル十日町」から参加されている方は絵を描くことが好きだったり何か手先で作ったりすることが好きな方で「クレヨンなんて何十年振りかなー」「色塗るのが楽しい」といつもニコニコです。11月には旬の里芋を使った「里芋の触感画」のアートプログラムを実施しました。このアートプログラムは通常の描き方とは少し違った手法で描いていきますが、「紙から里芋を掘り出しているみたい」「描くとは違う感覚だね」「普通と違うのが楽しい」と感想をいただきました。職員の方々も「今日はどんなことしたの?」と興味津々で終了すると作品を見に来てくださいます。

### ❖職員の方々の熱意

少数数ではありますが、10年の長きに渡り続けて来られたのは職員の方々の熱意があります。十日町市から委託を受けて認知症予防教室を開催されている株式会社クリーンセキュリティ介護福祉事業部では十日町市協力のもとNPO認知症予防サポートセンターのファイブ・コグ（高齢者用集団認知検査）という検査方法で検査を実施し事業としての効果を検証しています。それらを通して臨床美術に参加しておられる方に効果をもたらすことを職員の方々が理解して下さっていて、地元で臨床美術士の教室継続が困難となった際に、「どうしても臨床美術を続けてほしい、来てくれる人はいませんか?」とご連絡をいただきました。車で1時間ほどの道のりではありますが、月一回長岡

市から通うこととし、現在に至っています。雪深い十日町市ですが、アートで地域を明るく活性化させるという土地柄です。これからも臨床美術を認知症予防教室「さわやか」で続けていければと思っています。  
【臨床美術士 土田倅子】

\* \* \* \* \*

◎株式会社クリーンセキュリティ介護福祉事業部  
十日町市委託事業認知症予防教室「さわやか」  
〒948-0082 新潟県十日町市本町2丁目4-1  
アップルとおかまち 2階  
TEL 025-750-1288 FAX 025-750-1289



### アートセラピー「臨床美術」とは

絵やオブジェなどの作品を楽しみながら作ることで脳を活性化させ、高齢者の介護予防や認知症の予防・症状改善、働く人のストレス緩和、子どもの感性教育などに効果が期待できる芸術療法（アートセラピー）のひとつです。

1996年に医師、美術家、ファミリーケア・アドバイザーがチームとなって実践研究をスタートさせました。医療・美術・福祉の壁を越えたアプローチが特徴の臨床美術は、介護予防事業など認知症の予防、発達に気になる子どもへのケア、小学校の特別授業、社会人向けのメンタルヘルスケアなど多方面で取り入れられ、いきいきと人生を送りたいと願うすべての人へ希望をもたらしています。

- ◆芸術造形研究所ホームページ  
<http://www.zoukei.co.jp/>
- ◆日本臨床美術協会ホームページ  
<http://www.arttherapy.gr.jp/>

\*表紙掲載作品\* アートプログラム名「アラバスクⅡ」「里芋の触感画」 製作者：十日町市委託事業認知症予防教室「さわやか」